

AO入試

指定校制
推薦入試

公募制
推薦入試

自己推薦入試

一般入試

センター利用入試

社会人入試

外国人
留学生入試

編入学試験

受験上の注意

出願手続

合格発表
入学手続
入学辞退

学費

奨学生制度

Q&A

平成30年度
入試問題

大学
公募制推薦入試
小論文

大学
公募制推薦入試
教養 (国語)

大学
公募制推薦入試
教養 (英語)

大学
一般入試
(国語)

大学
一般入試
(英語)

大学
一般入試
(数学)

短大
公募制推薦入試
小論文

短大
公募制推薦入試
教養 (国語)

短大
一般入試
(国語)

記入上の注意

記入例

教育福祉学部 一般入試 (前期) 「国語」 (1)

びわこ学院大学 平成三十年度 一般入試 (国語) ※設問で指示をした字数は句読点等も含みます。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本の空間と西洋の空間とを比較してみると、日本の空間に水平性を感じ、(1) 西洋の空間は垂直性を感じるのとは違ってはいないだろう。立つて歩くことを好む民族「立俗」としての西洋社会の思考性は、つねに天に向かうものであり、遠くを見る眼差しであった。遠くを見る視線は遠近法の世界を生み出す。一点を中心に、パースペクティブな視線で空間をとらえるのである。西洋建築の窓が縦に長いのは、積石建築から生まれたものである。石を積み上げる建築技術から生まれる窓に、横に長いものをつくることは困難である。もちろんアーチといふ構造を生み出し、広い開口を求めた技術もあるが、多くの建築では縦に長い窓である。

ちなみに日本の建築の開口部は、柱と柱に(2) ハサまれたあいだに生まれる横に長い形態のものである。日本の開口部は西洋でいうところの窓 (Window) ではない。窓という概念は、壁があることよって成立するものである。日本の建築は、ほんの一部を除いては壁というものを生み出すことはできない。開口部は、かつて間の戸と書いて「間戸」といったのである。そこから日本と西洋とは、決定的な視線の違いを生む。縦に長い窓から外を眺めてみるを誰しも解るのだが、視線は遠くに向かう。遠くに向かう視線は、目の遠近的な動きを生み出す。日本の視線が、水平な左右の移動としたならば、西洋的窓から生まれる視線は縦、長さ、高さなどを(3) トらえる視線である。

□ 日本の舞台空間である歌舞伎は、横に長くなくては構成することができない。遠くを演出するには、風景を近景、中景、遠景という形で書割によって表現する。それは目の左右の移動に合わせた構成だといえる。だが(4) 西洋の舞台空間、たとえばシェイクスピアの舞台は、奥行きと高さが高ければ演出できない。こうした違いが、日本の空間と西洋の空間の特性を決定的なものにする。(坐る) という身体感覚から生まれるのは、眺めるという視線である。座敷から庭を眺める視線、ぬれ縁からのぞむ目、季節の移り変わりを肌で感じる感覚、こうしたことはすべて静かに坐るという身体行為によって生み出された感覚であった。眺めるという視線は、眼の左右の移動であり、ものを水平に見る眼差しでもあった。暗居と敷居によって切り取られた庭は水平の世界である。そして庭も水平に構成されたものであった。舞臺師の作庭した西芳寺の庭園、小堀遠州の孤蓬庵、金地院の庭園、そして代表的な禅宗寺院の庭である通安寺の石庭も、すべて水平の感覚が生み出したものである。日本の空間デザインがつねに「水平の感覚」をもつのは、「坐る」という身体感覚、そして「眺める」という視線が生み出したものなのである。

一方(5) 日本の文化は、外来文化との共生によって生まれたものである。では、外来文化を風化に向けてどのように共生をはかっていたかという、「土間の建築」を「坐式生活に適した建築」へ、(6) 椅子とテーブルの生活スタイルを床坐の暮らしへと変更していったのである。六世紀、仏教文化とともに導入された寺院建築も、八世紀中頃の東大寺法華堂ですべて床が張られていた。また橋太夫の貴族住宅も、大陸建築様式でありながら、最初から床をもつていた。鎌倉時代、禅宗文化とともに導入された(7) の建築様式である禅宗様、大仏様も十四世紀の半ばには、普濟寺仏殿や永保寺観音堂のように板敷の床がつくられた。このように、生活空間とは異なった仏教寺院ですら、床が張られていたのである。

しかし、日本の民家、農家の建築には、近年近くまで土坐が行われていた。日本の家の流れは、土間、板の間、畳の間という床の変化の流れである。もともと早く畳の敷きつめられた座敷は、上層階級の人びとの住まいであったが、それでも鎌倉時代以前は、板の間に畳を坐具として敷くという生活が長く続いていた。農家にいたっては、近年まで土間の上にも、もみ殻や敷物敷く暮らした。いずれにしても、床の形状とは別に、こうした坐る暮らしへの適合が日本の風化の流れであったとしたら、もう一方の重要な流れは、建築の外観も、室内空間も、(8) 多くの道具も、直線的形状の「水平的感覚」を整えることであった。

大陸の建築の特性は屋根の形状にあることは、誰でも気がつくだろう。軒先線の跳ね上がった形は、まるで電の反り返ったような(9) ヤクト別感に満ちたものである。禅宗建築も、大仏様も、その後導入された真宗の建築も、すべてにわたって軒先線が跳ね上がった。大腰の建築の特性は屋根の形状にあることは、誰でも気がつくだろう。軒先線の跳ね上がった形は、まるで電の反り返ったような(10) ヤクト別感に満ちたものである。禅宗建築も、大仏様も、その後導入された真宗の建築も、すべてにわたって軒先線が跳ね上がった。伊藤延男は、こうした水平感覚、意匠の直線性をつくり出したのは、日本建築が(11) テンテリ的に木造であったことだと指摘している。(12) IV、その主体となった木の種類が、檜という木目のよく通った割りやすく加工しやすいものであったことに関連があったのではないかと推察している。建築部材の基本となる木材の断面は、円形または方形で、縦に長く通った直線材である。こうした素材

教育福祉学部 一般入試 (前期) 「国語」 (2)

の多用はおのずと意匠の直線性を生み出したのであろう。

日本の文化を一般に「木の文化」という。建築もまた、木材によってつくられる。それに対して、韓国の文化は「土の文化」である。建築も土に固められたものである。こうした文化の背景には、地域で産出される木材の性質が大きく影響することになる。日本の建築材の性質はさきにも述べたように、檜のような直線的なものである。建築の主要構造はこうした木材の直線的組み合わせによって生まれる。だが、韓国の主となる木材は、松のように曲がった素材である。建築の構造材としてはどうなるものか、建築の外観、意匠には向かない。そこで土によって全体を(13) オコウことになる。こうしたことを考えると、(14) 甲 (内田繁「インテリアと日本人」晶文社)

注 パースペクティブ……遠近法のことだが、本文では「全体的な視点から判断する」の意。

書割……坐居の道具の一つ。背景として風景や建物などを描いたもの。いくつかに割って描くことによる呼称。

橋太夫……京都府南丹市にある曹洞宗の寺。

普保寺……岐阜県多治見市にある曹洞宗の寺。

永保寺……岐阜県多治見市にある曹洞宗の寺。

黄檗宗……禅宗の一つで、江戸時代に明の臨元によって日本に伝えられた。

長押……日本建築で、柱と柱の間に水平に取り付ける装飾的な横木のこと。

伊藤延男……神戸芸術工科大学名誉教授。専門は日本建築史。

意匠……美しく見せるための創意工夫。

問一 傍線部(1)～(5)のカタカナを漢字で書きなさい。

(a) ハサ (b) トラ (c) ヤクトウ (d) テンテリ (e) オオ

問二 □Ⅰ～Ⅳについて、次の①、②に答えなさい。

① □Ⅰ～Ⅳに入る最適なものを選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、さらに イ、しかも ウ、つまり エ、なぜなら オ、たとえ

② 右①で答えたもののうち、一つだけ異なる品詞の語があります。その語を記号で答え、あわせてその品詞名も答えなさい。

問三 傍線部(1)「西洋の空間に垂直性を感じる」とありますが、筆者は、「西洋」の建築において空間に「垂直性」を感じさせるものは何だかといっています。本文から五字以内で抜き出さない。

問四 傍線部(2)「西洋の舞台空間」といえば、シェイクスピアの舞台は、奥行きと高さが高ければ演出できない」とありますが、この理由として最適なものを選び、記号で答えなさい。

ア、西洋社会の視線は遠くに向かつており、演劇空間でも天という高みからの視線を必要としているから。

イ、日本の舞台空間は木造建築によるものだが、西洋の舞台空間は積石建築によって生み出されているから。

ウ、西洋民族は積石建築の技術を持つために、演劇の舞台にも自然と水平な左右の視線を求めるから。

エ、西洋民族の思考はつねに天に向かつており、演劇の観客も遠近法的な視線で空間をとらえるから。

問五 傍線部(3)「日本の文化は、外来文化との共生によって生まれた」とありますが、次のA・Bは、「外来文化との共生」が可能な理由として筆者が挙げている一点をまとめたものです。A・Bの□部をそれぞれ完成させなさい。

なお、Aは十五字以内、Bは十八字以内で答えなさい。

A:大陸の生活様式を□から。

B:大陸由来の建築やその空間に存するものを□から。

AO入試

指定校制
推薦入試

公募制
推薦入試

自己推薦入試

一般入試

センター利用入試

社会人入試

外国人
留学生入試

編入学試験

受験上の注意

出願手続

合格発表
入学手続
入学辞退

学費

奨学生制度

Q&A

平成30年度
入試問題

大学
公募制推薦入試
小論文

大学
公募制推薦入試
教養（国語）

大学
公募制推薦入試
教養（英語）

大学
一般入試
（国語）

大学
一般入試
（数学）

短大
公募制推薦入試
小論文

短大
公募制推薦入試
教養（国語）

短大
一般入試
（国語）

記入上の注意

記入例

教育福祉学部 一般入試（前期）「国語」（3）

問六 本文の構成について次の①・②に答えなさい。

① 本文を前半と後半の二つに分け、前半の終わりの八字を抜き出しなさい。（句読点を含まず。）

② 右の①で分けた本文前半の小見出しとして最適なものを並び、記号で答えなさい。

- ア、木の文化と石の文化 イ、床に親しむ生活 ウ、眺める視線

エ、外来文化にどのよりに向き合うか、その良い参考にならぬ。

ア、木材の性質がどれば文化の意匠を決定するかがわかるだろう。

イ、これからは、住居の強度と水溶性にも配慮しなければならぬ。

ウ、民族の思想性が建築物に大きな影響を与えていることは明白だ。

次の文章は、林京子の小説『野に』の一節です。主人公「私」は、女学校時代に長崎で被爆し、同期生の山本たちを亡くしています。本文は、「私」が被爆から三十二年後に開かれた同期会に出席し、その後、同期会を欠席した同期生の西田に、会の様子を話している場面です。よく読んで、後の問いに答えなさい。

※仮名遣い及び一部の漢字を改めています。

富貴後、開かれた同期会にも、山本の兄は出席していた。よほど嬉しかったのだろう。会が始まると、幹事特に出して、三十三回忌の礼を山本の兄に述べた。女ばかりの同期会に同年輩の男が一人出席しているのは、いささか場違いな感じがしたが、妹思いの人だな、と気にもとめないで、私たちは雑談をしていた。挨拶を終ると、山本の兄は、山本の死の様子を話した。妹は、あの日は数日の間、生きておりました。と言った。（一）火傷を負って、見つけたのは母親です。と言った。（二）私は、思わず身をのりだして、男の次の言葉を待った。

同じ工場に勤められていたが、妹を助けられなかったのが、口惜くてもなりません。と男は言葉を切った。当時、山本の兄は中学校の四年生だったという。一つ違いの兄妹である。工場から逃げた兄は、妹の名を呼びながら、炎のなかを探して歩いた。妹を見つけたことはできなかった。

工場の鉄骨の下敷きになっていたのか、道路にまではいだして、助けたのか。山本を見つけたのは工場にいわせただけでなく、母親である。兄は、兄なりに慰撫をつくしたのだろうか、見つけたことを、悔いている様子だった。被爆直後に救い出して、しばらくして助かったのではないかと、山本の兄は、自分を責めて話。腹の上で両手を重ねて、視線を曇らして話す静かな雰囲気は、やはり、何処となく山本と似ていた。話を聞いているうちに、山本の兄の悔いとは真はらに、私の心は軽く暗れていた。

母親が、死んでゆく山本のそばにいたことが、私には何よりも嬉しかった。ボルネオにいるとばかり思っていた母親は、日本内地に住んでいて、山本の死をみとっている。工場の炎のなかに転がって、一人で死んだのではない。（三）私は、救われる思いで男の話を聞いた。

死ぬ間際に、サイダーを母親にねだりましてね、と男が言った。願いを（一）叶えやうだが、サイダーなどの余分の嗜好品は、金をだしても手に入らない。死期は、あきらかに近づいている。娘の顔を、途方にくれて眺めていた母親が、そのとき席を立てて、台所に行った。兄もついて行った。

母親は、台所の棚から白い粉が入った瓶を取り出した。代用食の蒸しインに使う、重曹である。それを母親は、茶匙の先をすくいて、コップに入れた。配給になっていた砂糖を加えて、水をそそぐ。コップの底から細かい泡が昇って、サイダーらしきみかけの液ができた。母親は、コップを息子に見せて、サイダーよ、と確かめる口調で言った。

娘が寝ている座敷に持って行った母親は、サイダーよ、と同じ言葉を、娘の耳に口を寄せて言った。山本は、嬉しそうに目を開けた。肥すくつく、一匙ずつ飲ませると、山本は唇を濡らしながら、うまそうに飲んだ。それから間もなく、山本は死んだ。

富貴後から見ると、明るい街並みをさして山本の兄は、百円玉を入れば、幾らでも飲みたいときに、うまいサイダーがでてきますね、と言った。

教育福祉学部 一般入試（前期）「国語」（4）

自動販売機の前に立って、百円玉を入れる。サイダーの缶がでてくる。でてくるまでの数秒の間に、妹の言葉が必ず脳裏に浮かんでくる。兄妹の嗜好は似ていて、ついサイダーのボタンを押してしまふ。騒々しい音をたてて転がりで、冷たい缶のリングを引きあげながら、飲ませたい、と思ふ、と山本の兄が言った。

会場の大広間には、百二十数人のシッポクの料理が並べられていた。シッポク料理は赤や緑の、色彩豊かな料理である。大皿に盛りつけた皿の間に、ビールやオレンジジュース、サイダーなどの瓶が置かれている。空になった瓶もある。私たちがテーブルにも飲み物の瓶が並び、五人のシッポクに、サイダーが泡をあげている。友人たちはサイダーを飲み、話を聞き、涙を流している。私のシッポクにも、サイダーがいてあった。

私は、コップを取りあげた。銀色の小さい泡の粒を眺めて、一口飲んだ。炭酸の涼しさをのりして、うまい、と思ふ。本物のサイダーを飲ませてあげたかった、と味わって飲んでいる。（三）横に坐っていた志波が、私の膝を軽く、指先で叩いた。

志波は、西田と前後して、終戦後に大阪から転校してきた生徒である。被爆時の様子を知らない志波は、話を熱心に聞いていたが、話が終ると私の膝を叩いて、泣きながらサイダー飲んだの？と聞西井で言った。よく飲めるなあ、と言いたかったらしいが、それ以上は言わないで。（四）薄い唇をゆめゆめ笑った。

志波の胸は、私の胸に当たった。飲ませたい、って思いついたのよ、とつもらない言い訳を私はした。運ばれてきた紅茶を、ニッキ棒で掻きまわしていた西田が、志波と同じように、唇をゆがめて笑って見せた。その気持ちはわかる、と言った。志波さんも雰囲気から、はみだしてしまふのね、きつと、と西田が言った。だけど、西田は言葉を続けた。あなたたちと付き合っている、あなたも心情的には被爆者になつてしまつて、でも体験はない、だから体験を犯してはいけないと思ふ、そこにいるのは死者だから、だから余計にあなたたちの行動を（五）辛辣にみてしまふ、と西田が言った。泣きながらサイダーが飲める神経の太さは、自分たちとはとてもない、と言った。

西田の言葉を聞いているうちに、私は、志波に膝を叩かれたときと同じように、頬が赤くなった。（五）飲む、飲まないの動作ではなく、西田の指摘した無神経さが恥ずかしくなった。無意識な行為なのだが、死んだ山本たちと八月九日を共有している奇妙な（六）割り、私が無神経にしているのかもしれない。部外者である西田たちは、既にぞで（七）躊躇してしまふ。犯してはならない、と二人が立ち入らない八月九日は、私に、二人の内部で純粋に保たれているように思えた。そして知らぬ間に私からは、西田志波たちまでも、八月九日に巻き込まれた。

志波さんのように、多少は肉肉らしい気持ちもあるけれど、と西田は、いたずらっぽく笑った。飲んだのを責めてくるのじゃないのよ、泣きながらサイダーを飲んでいるあなたたち、いいじゃないの、三十二年が経った、つてことですよ、と言った。むしろ飲んでくれた方が救われる、それで泣かなくて生きてゆけないではないか。八月六日、九日に限らず、核への恐怖は現代人の誰も抱いている。考えと不安になる。だが、誰もそのために自殺はしない。何か希望をまつて、信じているからだ。安易かもしれないけれど、と西田が言った。わざわざ同期会にまで出席して、妹の死を話す山本の兄の心の底にも、話して救われたという気がする。話しているうちに、人間の力量からはみだした部分を見つけて、抗いがたい何かに救われていくのではないかと、言った。

八月九日なかに救いを見つけたのか、と私は西田に聞いた。悲惨な事実は、よくわかる、と西田は金を押して言った。否定する気持ちもない。ただあの瞬間にも必然以外の、何かがあったはずだ、と言った。神さまだって仏さまだって、あんなにだつて、あんなにだつてもあつても、太陽が昇ることを信じているでしょう、と言った。

あれは人間がつけた傷、と私は言った。西田の言葉を借りるならば、人間が秘密に計算してつけた必然的な傷なのだ。その計算によつて私たちは、子や孫に受け継がれてゆく生命に傷を受けている。これは自然の（八）摂理からはみだした行為で、人間以外の者が介入する余地はない。（九）西田や志波とは、やはり違っている。

注 ボルネオ……戦争中は日本領であった東南アジアの島
代用食……戦争中、食糧事情が悪いため、主食の米飯の代わりに食べたもの。
重曹……重炭酸ソーダの略。ベーキングパウダーや医薬品に用いる。
配給……統制経済のもとで、生活必需品などを国民に割り当てること。
シッポク……中国料理に日本料理的手法を取り入れた長崎特有の料理。大皿ならびに盛つた料理を各自が取り分けて食べる。
ニッキ棒……棒状のシナモンのこと。

（林京子『野に』『祭りの場』ギヤマン・ビードロ講談社）

AO入試

指定校制
推薦入試

公募制
推薦入試

自己推薦入試

一般入試

センター利用入試

社会人入試

外国人
留学生入試

編入学試験

受験上の注意

出願手続

合格発表
入学手続
入学辞退

学費

奨学生制度

Q&A

平成30年度
入試問題

大学
公募制推薦入試
小論文

大学
公募制推薦入試
教養 (国語)

大学
公募制推薦入試
教養 (英語)

大学
一般入試
(国語)

大学
一般入試
(英語)

大学
一般入試
(数学)

短大
公募制推薦入試
小論文

短大
公募制推薦入試
教養 (国語)

短大
一般入試
(国語)

記入上の注意

記入例

教育福祉学部 一般入試 (前期) 「国語」 (5)

- 問一 傍線部 (a) ~ (d) の漢字をひらがなで書きなさい。
- (a) 火傷 (b) 叶 (c) 著 (d) 躊躇
- 問二 傍線部 (A) ・ (B) の意味として最適なものを選び、それぞれ記号で答えなさい。
- (A) 辛辣
ア、きわめて手厳しいこと
ウ、しつくりしないこと
エ、そぐわないこと
オ、普通とは様子が違うこと
- (B) 揶揄
ア、予想や期待に反する悪い結果
ウ、すべてを支配している法則
エ、因果関係のない偶然の結果や事実
イ、筋道の通った原則的な結果や知識
- 問三 傍線部 (1) 「私は、思わず身をのりだして、男の次の言葉を待った」とありますが、「(1)私」の様子として最適なものを選び、記号で答えなさい。
- ア、久々の同期会で、雰囲気を変え始めた山本の兄の意図をはかりかねている。
イ、山本の兄がどのような話を続けるのか、大いに興味をかきたてられている。
ウ、全体の場を話す中身でもないで、山本の兄の話でも「(1)か」で連ううとしている。
エ、山本の兄が、山本のことを話し始めたので、うれしさを抑えきれずにいる。
- 問四 傍線部 (2) 「私は、救われる思いで男の話を聞いた」とありますが、これはなぜですか。その理由を二十字以内で答えなさい。
- 問五 傍線部 (3) 「横に坐っていた志波が、私の膝を軽く、指先で叩いた」、傍線部 (4) 「薄い唇をゆがめて笑った」とありますが、この時の「志波」の気持ちを説明したのもとして最適なものを選び、記号で答えなさい。
- ア、山本の兄の話の聞いた後、「私」がどんな気持ちでサイダーを飲んでいるか確認したいと思っている。
イ、山本への同情も抱きつつ、平然とサイダーを飲む「私たち」に対して、非難めいた気持ちを持っている。
ウ、自分は被爆者だったので、山本のことを思って、「私たち」とサイダーを飲むことを遠慮している。
エ、山本をしるんで皆でサイダーを飲むのは配慮に欠けるので、山本の兄にも申し訳ないことだと感じている。
- 問六 傍線部 (5) 「飲む、飲まないの動作ではなく、西田が指摘した無神経さが恥ずかしかった」とありますが、「西田が指摘した無神経さ」とはどのようなことですか。その説明として最適なものを選び、記号で答えなさい。
- ア、被爆者という体験を意識しすぎたため、いつしか被爆者以外の人を排除するような姿勢になっていかなかったこと。自分では気づかなかった。
イ、被爆という過去の体験にとらわれた結果、これからの人生について考えることを先延ばしにしていたこと。自分では気づかなかった。
ウ、原爆でなくなった人の悲しみは、被爆者である自分しか理解できないという態度をいつしかとっていたこと。自分では気づかなかった。
エ、自分は被爆者だが、原爆で亡くなった人の悲しみに対していつしか鈍感になりかけていたこと。自分では気づかなかったこと。
- 問七 傍線部 (6) 「西田や志波とは、やはり違っている」とありますが、「(6)の」西田や志波「に対する「私」の気持ちを述べたものとして最適なものを選び、記号で答えなさい。
- ア、被爆者の苦痛や原爆の恐怖も切実に受け、伝聞による知識しかないために考え方が安易になりがちだ。
イ、戦後三十二年も経過したことを理由に、被爆体験を過去のものととらえることには、やはり同調できない。
ウ、「被爆を仕方のない運命としてとらえること」で救われてもよい」という考えには、被えられぬ大きな溝を感じる。
エ、原爆そのものを体験していないので、戦争に対する厳しい姿勢や被爆者に対する真の共感には欠けるようだ。

教育福祉学部 一般入試 (前期) 「英語」 (1)

びわこ学院大学 平成30年度 一般入試試験 (英語)

【1】 次の各組の語の中で、下線部の発音が左端の語の語と同一のものを選び、記号で答えなさい。

- 問1 stomach : ア、chance イ、Christmas ウ、arch エ、choice
- 問2 couple : ア、double イ、house ウ、though エ、soup
- 問3 nature : ア、match イ、narrow ウ、bathe エ、ladder
- 問4 foot : ア、pool イ、food ウ、tool エ、wool
- 問5 cease : ア、phrase イ、advice ウ、cause エ、log

【2】 次の英文の()に入れるのに、最も適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- 問1 Please remember () this letter on your way to the station.
ア、post イ、to post ウ、posting エ、having posted
- 問2 If you do not attend the party, I won't ().
ア、either イ、neither ウ、also エ、too
- 問3 The telephone () for two minutes before it was answered.
ア、is ringing イ、was ringing ウ、have been ringing エ、had been ringing
- 問4 I () global warming with my classmates yesterday.
ア、discussed イ、discussed of ウ、discussed about エ、discussed on
- 問5 I have two cats. One is white, and () is black.
ア、another イ、the one ウ、the other エ、other

【3】 次の各日本語の意味になるように、英文の()内の語(句)を並べ替えなさい。
解答欄には、並べ替えた語(句)の2番目と5番目をそれぞれ入れ替えてください。
なお、文頭に使う語(句)もすべて小文字で与えられています。

- 問1 私は靴が少しがらみなので彼女に話しかけられなかった。
(ア talking / イ shyness / ウ from / エ my / オ kept / カ me) to her.
- 問2 社長は来週、辞意を表明するでしょう。
The president (ア announce / イ resign / ウ decision / エ his / オ to / カ will) next week.
- 問3 私の父はまるで何でも知っているかのように話す。
My father (ア if / イ talks / ウ everything / エ knew / オ he / カ as).
- 問4 私にお電話をください。お母さんにお伝えいただけませんか。
(ア mind / イ you / ウ would / エ to / オ your mother / カ asking / call me back?)
- 問5 パーティ会場が決まっています。
(ア been / イ not / ウ has / エ party place / オ decided / カ the) yet.

【4】 次の各組の2文がほぼ同じ意味になるよう () に入れるのに最も適当なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- 問1 You have only to wait for his answer.
= () you have to do is to wait for his answer.
ア. Each イ. Every ウ. Any エ. All
問2 Take this umbrella with you in case it rains.
= Take this umbrella with you () it should rain.
ア. unless イ. lest ウ. least エ. than
問3 That necklace matches your dress well.
= That necklace () well with your dress.
ア. goes イ. does ウ. puts エ. becomes
問4 I regret that I didn't study harder.
= I regret () harder.
ア. not to study イ. to have not studied ウ. not having studied エ. studying not
問5 When I hear this song, I remember my high school days.
= This song () me of my high school days.
ア. reminds イ. memorizes ウ. occurs エ. happens

【5】 次の英文を讀んで、あとの問いに答えなさい。

Imagine that you are a printer (①) in China around a thousand years ago. Paper, a Chinese invention, has already been in use for hundreds of years. You produce printed books, but these are very expensive (②) they are difficult to make. To print just a single page of a book, you have to take a wooden board and cut into it until all the words and pictures stand up from the wood. After that, you spread ink over the board, turn it upside down onto a piece of paper, and press hard. And when you have made boards for all the other pages, and printed enough copies of the book, there is no possibility of reusing (L) them. This system is quicker than writing each book by hand, but it is still very slow. (2) It (L) to make (L) a very long time (L) takes (L) you and the other printers (L) one book (L).

Fortunately, sometime between the years 1041 and 1048, a man (③) *Bi Sheng had an idea. He started to make small blocks, and, on each of these he cut one word. To form a page, Bi Sheng put a number of smaller blocks together. After the page was printed, the blocks could be used again.

The new method quickly spread through China, then into Korea, Vietnam, the Philippines, and Japan. With reusable type, books and education became much (④), so many ordinary people were able to get better jobs.

By the fifteenth century, block printing had appeared in Europe, (⑤) it was used to make playing cards and a small number of books. (3) *Johannes Gutenberg (L) work with (L) person (L) was (L) reusable type (L) or the first (L) to (L). Maybe he had heard of (4) the Chinese invention, but it is also possible that he had the same idea himself.

(注) *Bi Sheng : 畢昇 (ひつしゅう)、中国の北宋の代(960~1126年)の活版印刷技術の発明家

*Johannes Gutenberg : ヨハネス・グーテンベルク(1398~1468年)、ドイツの活版印刷技術の発明者

問1 文中の () ① ~ ⑤に入れるのに、最も適切な語 (句) をそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- ① : ア. work イ. working ウ. worked エ. have worked
② : ア. though イ. while ウ. unless エ. because
③ : ア. call イ. calling ウ. called エ. to call
④ : ア. cheaper イ. heavier ウ. smaller エ. more expensive
⑤ : ア. which イ. how ウ. where エ. why

問2 文中の下線部(1)が指し示すものは何か。最も適切な語句を選び、記号で答えなさい。

- (1) them
ア. all the words and pictures
イ. boards for all the pages
ウ. enough copies of the book
エ. printed books

問3 文中の下線部(2), (3)がそれぞれ次の日本語の意味を表すように【 】内の語 (句) を並べかえなさい。解答欄には、並べかえたうちのそれぞれ2番目と5番目にくる語 (句) の記号を答えなさい。

(2) あなたや他の印刷屋たちが1冊の本を作るのに、とても長い時間がかかります。

It (L) to make (L) a very long time (L) takes (L) you and the other printers (L) one book (L).

(3) ヨハネス・グーテンベルクは再利用ができる活字で (印刷の) 仕事をした最初の人でした。

Johannes Gutenberg (L) work with (L) person (L) was (L) reusable type (L) or the first (L) to (L).

問4 文中下線部(4)が表す内容は何か。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

(4) the Chinese invention

- ア. 紙
イ. 畢昇
ウ. 活版印刷
エ. 漢字

問5 本文の内容に合致するものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 紙は今から約1,000年前に中国で発明され、その後印刷技術が生まれた。
イ. 初期の印刷では、本1ページ分に対して、1枚の版にすべての文字と絵が彫られた。
ウ. 初期の印刷ではインクを塗った版木の上に紙を置いて、その紙を強く上から押して印刷した。
エ. 中国の畢昇は1文字ずつの活字をつくり、それらの活字を組み合わせて印刷した。
オ. 畢昇が活版印刷を発明する前にグーテンベルクは活版印刷を発明した。

AO入試

指定校制
推薦入試

公募制
推薦入試

自己推薦入試

一般入試

センター利用入試

社会人入試

外国人
留学生入試

編入学試験

受験上の注意

出願手続

合格発表
入学手続
入学辞退

学費

奨学生制度

Q&A

平成30年度
入試問題

大学
公募制推薦入試
小論文

大学
公募制推薦入試
教養 (国語)

大学
公募制推薦入試
教養 (英語)

大学
一般入試
(国語)

大学
一般入試
(英語)

大学
一般入試
(数学)

短大
公募制推薦入試
小論文

短大
公募制推薦入試
教養 (国語)

短大
一般入試
(国語)

記入上の注意

記入例

教育福祉学部 一般入試 (前期) 「数学」 (1)

びわこ学院大学 平成30年度一般入学試験 (数学)

受験 番号								氏名					選択
----------	--	--	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

1 次の問いに答えよ。

(1) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ で、 $\sin^2 \theta + 2\cos \theta = 2$ のとき、 $\cos \theta$ の値を求めよ。

(2) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、 $\frac{1}{\cos^2 \theta} = 2(\sqrt{3} \tan \theta - 1)$ を満たす θ の値を求めよ。

2 次の問いに答えよ。

(1) $(2x - y + 1)(x + 2y - 2)$ を展開せよ。

(2) (1) を利用し、次の等式を満たす整数の組 (x, y) をすべて求めよ。
 $2x^2 + 3xy - 2y^2 - 3x + 4y - 9 = 0$

教育福祉学部 一般入試 (前期) 「数学」 (2)

びわこ学院大学 平成30年度一般入学試験 (数学)

受験 番号								氏名					選択
----------	--	--	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

3 m, n を整数とする。

命題「 $m^2 + n + 1$ が偶数ならば、 mn は偶数である」について、次の問いに答えよ。

(1) この命題の対偶を述べよ。

(2) (1) を用いて、この命題を証明せよ。

4 5個の正の数 a, b, c, d, e がある。おのおのの2乗の和が $a^2 + b^2 + c^2 + d^2 + e^2 = 270$ 、相異なる2つの数の積の和が $ab + ac + ad + ae + bc + bd + be + cd + ce + de = 315$ となる時、次の問いに答えよ。

(1) 5個の正の数 a, b, c, d, e の平均値を求めよ。

(2) 5個の正の数 a, b, c, d, e の分数を求めよ。